

TKC FX4 クラウド版 複合仕訳の書き出しについて

株式会社 HAYAWAZA

本資料では、FX4版 HAYAWAZA で複合仕訳を書き出し、FX4へインポートする方法を説明します。
※本機能は、FX4クラウド版のみの機能となっております。

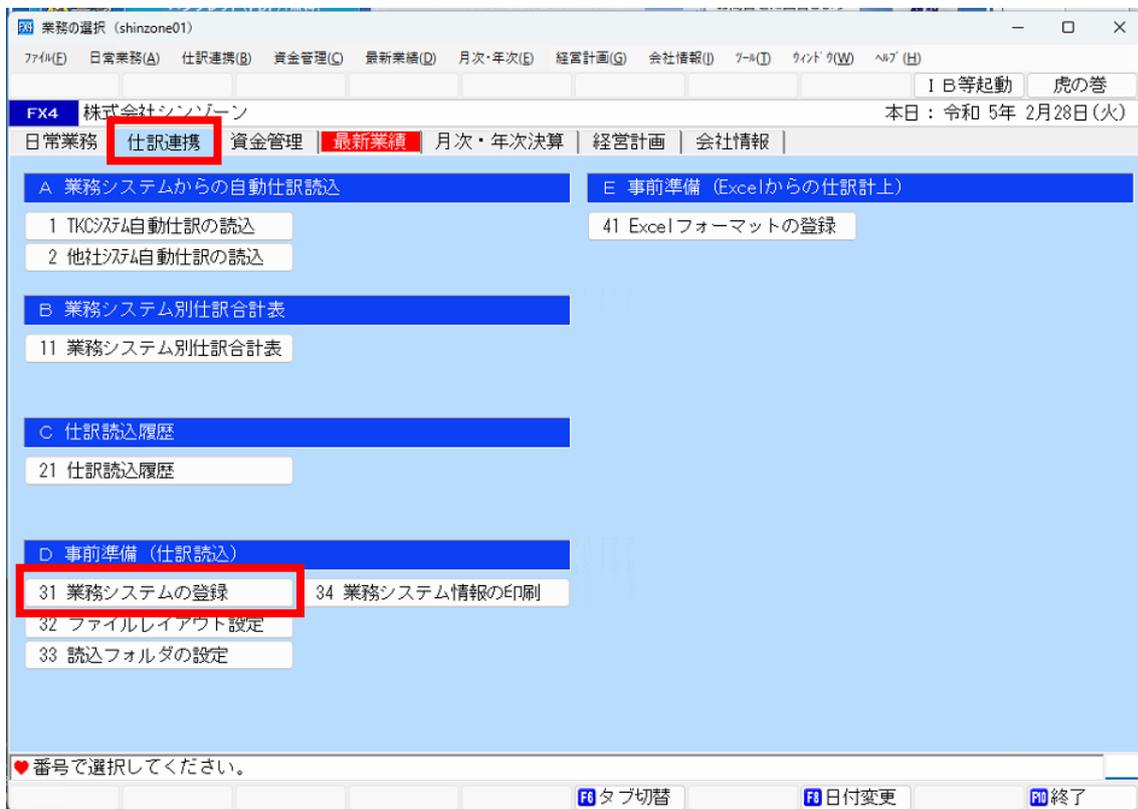
FX4 ご利用の場合も、HAYAWAZA の事業所をFX4クラウド版へ変更してください。
FX4クラウド版への変更は、「ツール」>「事業所の変更」>右クリックで可能です。

1. FX4の準備

TKCFX4にて、振替伝票用のシステム区分を作成します。
通常の単一仕訳の区分とは別のコードでご登録ください。

※同一システム区分でもHAYAWAZAで処理は可能です。
その場合は、単一仕訳インポート時と複合仕訳インポート時で、毎回FX4側でファイル受入レイアウトを変更する必要があります。

「仕訳連携」>「業務システムの登録」>「登録」>「振替伝票用のシステム区分を作成」から、複合仕訳用の新規システム区分を作成します。



業務システムの登録

7/14(F) 日常業務(A) 仕訳連携(B) 資金管理(C) 最新業績(D) 月次・年次(E) 経営計画(G) 会社情報(I) 表示(U) ウィンドウ(W)

1 B等起動 虎の巻

FX4 株式会社 本日：令和 5年 2月28日(火)

連携システム情報

コード	頭	システム名
103		

コード: 103
 頭文字:
 システム名:

自動仕訳番号の連続性チェック
 項目「自動仕訳番号」が連続していない場合に警告を表示
 自動仕訳番号の付番ルール
 無期限に継続 事業年度ごとに付番 月ごとに付番

ファイルのタイムスタンプチェック
 作成後に更新されたファイルの場合に警告を表示
 作成後、 日経過しているファイルの場合に警告を表示

同一仕訳のチェック
 以下の項目が同一である仕訳がすでに存在する場合に警告を表示
 ・取引年月日、勘定科目、取引先、取引金額

消費税率のチェック
 標準税率・軽減税率と異なる税率が存在する場合に警告を表示

当システムから連携する仕訳は「期末整理仕訳」とする
 TKC証憑ストレージサービスに保管された証憑の証憑IDを併せて読み込む

OK キャンセル

♥連携システムコードを入力してください。

F10 ヘルプメニュー

通常指定する単一仕訳のコードとは別のコードで登録してください。
 システム名などを設定し、「OK」で登録をします。

次に、複合仕訳用のシステム区分の受入レイアウトを設定します。
 「仕訳連携」>「ファイルレイアウト設定」を開きます。

業務の選択

7/14(F) 日常業務(A) 仕訳連携(B) 資金管理(C) 最新業績(D) 月次・年次(E) 経営計画(G) 会社情報(I) ヘルプ(H)

1 B等起動 虎の巻

FX4 株式会社 本日：令和 5年 2月28日(火)

日常業務 仕訳連携 資金管理 最新業績 月次・年次決算 経営計画 会社情報

A 業務システムからの自動仕訳読込

1 TKCシステム自動仕訳の読込
 2 他社システム自動仕訳の読込

E 事前準備 (Excelからの仕訳計上)

41 Excelフォーマットの登録

B 業務システム別仕訳合計表

11 業務システム別仕訳合計表

C 仕訳読込履歴

21 仕訳読込履歴

D 事前準備 (仕訳読込)

31 業務システムの登録 34 業務システム情報の印刷
 32 ファイルレイアウト設定
 33 読込フォルダの設定

♥番号で選択してください。

F6 タブ切替 F11 日付変更 F10 終了

「業務を選択」>「基本情報」>「受入レイアウト」>「ファイル受入レイアウトの選択」を開き、「レイアウト 2（複合形式）」にチェックを入れてください。

ファイルレイアウト設定

7744(D) 日常業務(A) 仕訳連携(B) 資金管理(C) 最新業績(D) 月次・年次(E) 経営計画(G) 会社情報(I) 表示(V) ライブ(W)

IB等起動 虎の巻

FX4 株式会社 本日：令和 5年 2月28日(火)

コード	業務システム
101	レジデータ

業務システム

101 |

1. 基本情報 ファイルの種類や各項目名の区切り文字などを選択します。

2. 仕訳読込テンプレートの設計 業務システムの各項目との対応付けや、条件によってセットする値を設定します。

3. コード変換表の登録 業務システムとFX4とでシステム体系が異なる場合に、変換する内容を定義します。

♥処理を選択してください。

前頁 次頁 フルメニュー

ファイルレイアウト設定

7744(D) 日常業務(A) 仕訳連携(B) 資金管理(C) 最新業績(D) 月次・年次(E) 経営計画(G) 会社情報(I) 表示(V) ライブ(W)

修正 受入レイアウト フルメニュー 印刷開始 IB等起動 虎の巻

FX4 株式会社 本日：令和 5年 2月28日(火)

101

仕訳読込テンプレートの利用

利用する 利用しない（FX4クラウド標準のレイアウトで読込）

ファイル形式

区切り文字

タブ カンマ データの開始行 行目（これより上の行はタイトル行）

年月日形式（例：2010年4月1日、2010年12月31日）

YYYYMMDD (20100401、20101231) YYYY/MM/DD (2010/04/01、2010/12/31) YYYY MM DD (2010 04 01、2010 12 31) YY M D (10 4 1、101231)

YYYY年M月D日 (2010年4月1日、2010年12月31日) 和暦

ファイル拡張子

仕訳明細ファイルの拡張子 部門明細ファイルを使用する（拡張子 ）

証憑情報ファイルを使用する（拡張子 ）

OK キャンセル

♥処理を選択してください。

確認終了

受入レイアウト

ファイル受入レイアウトの選択

レイアウト 1 (単純仕訳形式) レイアウト 2 (複合仕訳形式)

◆ 1. それぞれのレイアウトの相違点は次の通りです。詳細はシステム解説書の巻末資料で確認できます。ご利用の業務システムに合ったレイアウトを選択してください。

(1) レイアウト 1
「伝票 (1伝票型)」の入力項目を前提としたレイアウトです。課税区分、取引金額、部門等は行単位でセットします。

(2) レイアウト 2
「複合仕訳」の入力項目を前提としたレイアウトです。課税区分、取引金額、部門等は貸借それぞれにセットします。

2. レイアウト 2 を選択した場合、取引ごとの区切りは「取引年月日」と「伝票番号」に関連付いた項目で自動判定します。

データ 1 行から計上する仕訳数 (レイアウト 1 選択時のみ有効)

1 件

◆ 日計表のようにデータ 1 行から複数の仕訳を計上する場合は、その件数を入力します。「仕訳読込テンプレートの設計」メニューで仕訳の種類ごとにテンプレートを設計できるようになります。

OK キャンセル

これで事前準備は完了です。

2. HAYAWAZA で複合仕訳をコンバートして、書き出す

HAYAWAZA にデータをコンバートし、仕訳エディタに仕訳を表示させます。

以下は、複合仕訳がコンバートされた仕訳エディタの画面です。



No.	日付	借方勘定科目	借方金額	借方消費税額	借方税区分	借方振替計算区分	借方摘要1	借方摘要2	貸方勘定科目	貸方金額
12	2023/08/10	1113 普通預金	577,696				売掛入金		1122 売掛金	728
12	2023/08/10	1121 受取手形	150,000				売掛入金			
12	2023/08/10	6232 支払手数料	864		0.不課税取引(税外...		振込手数料			
13	2023/08/13	2112 買掛金	628,000				買掛支払		1113 普通預金	628
13	2023/08/13	2112 買掛金	500				買掛支払		1113 普通預金	
10	2023/08/14	2117 預り金	44,300				住民税		1111 現金	44
14	2023/08/15	1111 現金	44,300				住民税		2117 預り金	23
14	2023/08/15								2117 預り金	11
14	2023/08/15								2117 預り金	9

HAYAWAZA での複合仕訳のパターンの作成方法については、動画・別紙を参照してください。

Youtube [【中級コース】Excel 複合パターンの設定について](#)

マニュアル [HAYAWAZAX 共通マニュアル \(弥生会計版\) p130~](#)

書き出しボタン（赤色）を押下して、書き出しの画面を表示します。



書き出し画面の、「振替伝票形式」のタブを開きます。

R.05/04/01~R.06/03/31

書き出し件数 **9 件**

書き出しデータオプション

- 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)
- すでに書き出された仕訳データを対象

出力後オプション

- 書き出した仕訳を削除する
- ゴミ箱の仕訳を削除する

事業区分 出力ファイル 部門内訳 レコード番号 **振替伝票形式**

振替伝票で出力 システム区分: 999

元帳摘要 取引先名

「元帳摘要」への書き出しオプション

- 借方摘要1 貸方摘要1
- 借方摘要2 貸方摘要2
- 借方摘要3 貸方摘要3

連結文字: 半角スペース

- 前後の空白を削除
- 連続する空白を空白に置換

パターン毎の書き出しを優先する

書き出しの対象期間

- 現在の会計期間すべて選択 会計期間外も対象とする
- 対象期間を指定 2023年 4月 1日 ~ 2024年 3月31日

2023年4月 2023年5月

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8	1	1	2	3	4	5	6
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			
30													

2023年6月 2023年7月

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3							1
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22
25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29
							30	31					

2023年8月 2023年9月

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5					1	2
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30
							1	2	3	4	5	6	7

今日: 2023/04/21

書き出す(Y) キャンセル(N)

デフォルトではチェックは入っていません。

チェックを入れない状態で書き出しを行うと、複合仕訳で作成された仕訳も、単一仕訳用に生成されて書き出しがされます。

単一仕訳用に書き出したファイルは、複合仕訳の受入フォーマットではインポートできません。

「振替伝票で出力」のチェックを入れ、振替伝票用に作成したシステム区分を入力し、「書き出す」をクリックします。

R.05/04/01~R.06/03/31

書き出し件数 **9 件**

書き出しの対象期間
 現在の会計期間すべて選択 会計期間外も対象とする
 対象期間を指定 2023年 4月 1日 ~ 2024年 3月31日

書き出しデータオプション
 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)
 すでに書き出された仕訳データを対象

出力後オプション
 書き出した仕訳を削除する
 ゴミ箱の仕訳を削除する

事業区分 出力ファイル 部門内訳 レコード番号 振替伝票形式
 振替伝票で出力 システム区分: 101

元帳摘要 取引先名
「元帳摘要」への書き出しオプション
 借方摘要1 貸方摘要1
 借方摘要2 貸方摘要2
 借方摘要3 貸方摘要3
連結文字: 半角スペース
 前後の空白を削除
 連続する空白を空白に置換
 パターン毎の書き出しを優先する

2023年4月 2023年5月
2023年6月 2023年7月
2023年8月 2023年9月
今日: 2023/04/21

以上で書き出しは完了です。

FX4 への取り込みは、別紙を参照してください。

[HAYAWAZAX差分マニュアル FX4 版 36p~](#)

※注意

「振替伝票で出力」をすると、単一仕訳で生成された仕訳も、複合仕訳用のフォーマットで書き出されます。単一仕訳と複合仕訳をそれぞれ別々にインポートしたい場合は、分けて書き出しを行ってください。

以上